

# くすのき

図書館だより 平成30年7月号特別版  
広島県立三原東高等学校図書館

暑い日が続いています。皆さんが待ちに待った夏休みまであと少し。今年の夏の予定はもう立てましたか？  
勉強に部活動に海に山にと盛りだくさんな夏休みになることでしょうか。そこにぜひ読書の予定も入れてくださいね！  
さて今回は、読書週間に読んでもらった感想文を載せたいと思います。ぜひ、夏休みに読む本の参考にして下さいね！

## —みんなの読書特集—

### 「告白予行練習 イジワルな出会い」香坂茉里

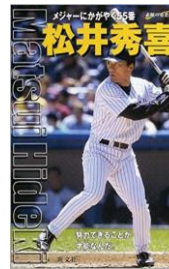
この本は、前作の「ハートの主張」に続く物語です。高校1年生の高見沢アリサと柴崎健(以降シバケン)の恋のすれ違いにドキドキ、ワクワクするストーリーです。シバケンが必死にアリサを振り返らそうとするところが魅力の一つです。また、この本では、シバケンの弟・愛蔵も描かれていて、LIPXIPのちょっとした場面も入っていても入っていて、思わず笑えて面白かったです。

このシリーズの本は、全て「Honeyworks」さんの原曲を原案にして構成されていて、その曲の世界観も広がります。曲を聴いて、本を読むと、とても楽しく読めるので良いと思いました。



### 「松井秀喜 メジャーにかがやく55番」四竈衛、飯島智則

僕は、この本を読んで、感じたことは、松井選手は、子供のころから、野球が上手いわけではなく、むしろ下手だったことが衝撃でした。それでも努力して諦めずに毎日頑張って野球が上手くなり、多くのホームランを打ち、スカウトから注目され、プロに入り、メジャーに行っても素晴らしい成績を残して活躍していてとても凄いことだと思いました。松井選手の凄いところは、たとえ下手でも、諦めずに続けることに意味があると思いました。僕も松井選手みたいに、何かに挑戦したいとこの本を読んで感じました。



### 「勝利はすべて、ミッションから始まる」村上恭和

この本には、指導者に必要な思考力がたくさん書いています。勝つためには、リーダーや指導者が何をすべきかが卓球を例にされています。私は、この本を読んで見て卓球だけではなく他のスポーツでも応用が出来ると思います。特に部長または、次期部長にオススメです。顧問の先生方も是非読んで見て下さい。



### 「また、同じ夢を見ていた」住野よる

主人公が様々な人達と出会い、喜び、傷つきながら少しずつ成長していく物語です。主人公は、子供ながらに変わった性格で学校ではのけもののような扱いを受けています。その中でも、主人公にアドバイスをくれる優しいおばちゃんがとても好きになりました。日々、生きていく中で、様々な選択があり、私達は選択しながら生きています。その中で、後悔した事、選んで良かった事とあります。今回この本を読んだ事で、何気なく選択していることがとても大切だと思えるようになりました。

ストーリーも文章もとても柔らかく、読みやすくオススメの一冊なので是非読んでもらいたいです。きっと、読んだ後は、タイトルの意味も分かり、とても爽やかな優しい気持ちになれるはずだと思います。もし機会があれば、私のオススメの一冊を手にとってくれれば幸いです。



### 「あんたなんかと付き合えるわけないじゃん！ムリ！ムリ！大好き！」内堀優一

主人公の男の子悟郎は、幼馴染である小春に告白するが、断られてしまった。理由を聞くとすでに付き合っている人がいるとのこと。友人に告白したことからその後の事まで話すと、何かひっかかる部分があるらしいのだ。中卒で海外の高校に行き、日本に戻ってきた明菜にも話した。すると明菜は困った顔をして、どこか悲しそうに見えた。明菜が発した一言に驚愕した。「小春ちゃんは…もう…死んでいるんだよ」悟郎にしか見えない小春を見ている状況がとても悲しい気持ちになります。その後、小春との関係がどのように変わっていくのか気になります。題名からは読み取れないような内容で面白いのでこの本をオススメします。



## 今回載せきれなかった感想文は次号に載せます。

## ☆図書館よりお知らせ☆

### ○「夏休みの開館について」

開館日

7月 7月23日(月)・24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金)・31日(火)

8月 8月2日(木)・3日(金)

開館時間 9:00～12:00(開館日)

貸出

貸出日は、7月25日(水)・8月3日(金)。貸出冊数は、1人1回 2冊まで。  
夏休み中に借りた本に限り、返却予定日は8月23日(木)とします。

※上記以外で臨時休館する場合があります。

その場合は、入り口に張り紙をしますので注意してください。